

授業コード (Code)	科目名 (Class)	開講semester (Semester)	曜日・時限 (Day of the Week, Period)	単位数 (Credit)	授業担当者 (Instructor)
510076	複合領域研究 210 [工農芸融合価値創出プロジェクト](全学US)	秋学期	水曜9限 水曜10限	2.0	小酒井 正和、栗田 絵莉子、堀場 絵史、相原 威

授業概要 (Course Outline)

社会の変化に対応して、現代は問題解決や価値創出の手段として、異分野の要素を有機的に組み合わせ、新しい価値を創出して行く「創発」的な思考や技術が求められる。本講義の目標は、異分野を学ぶ者と協議協働を行ない、異なる思考・技術をうまく融合させ、テクノロジー的視点、デザイン的視点、自然科学的視点などから多面的に捉えることで、専門分野を超えたクリエイティブな発想力と提案力を身につけることである。学生は工学(数理・データサイエンス・AI)・農学(人工光型植物工場・栽培技術)・芸術学(発想法・映像作品制作)の知識を学びながら、学部を超えたグループ編成でグループワークを行ない、プロトタイプを続けることとなる。最終的にはブランド価値向上のためのコンセプトを完成させ、そのコンセプトを反映させた反映させたプロトタイプを含め、学内外の専門家へ最終プレゼンテーションを行なう。

※本授業は対面での授業を実施します。

授業を通して修得できる力 (Competency Goals)

知識・理解 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Cross-cultural Understanding	
	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解 Culture / Society / Nature	○
汎用的技能 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル Mathematics	
	情報リテラシー Information Literacy	
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力 Problem Solving	
態度・志向性 Personal Qualities	自己管理能力 Self-management	
	チームワーク Teamwork	
	リーダーシップ Leadership	
	倫理観 Ethical	
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	
	生涯学習力 Lifelong Learning	

到達目標 (Objectives)

- ①工学(テクノロジー)、農学(サイエンス)、芸術(アート)を分野横断で学ぶことによって、人類の文化、社会と科学・自然に関する知識を修得し、全く新しい価値を生み出し社会貢献できる。
- ②異分野を専攻する学生と協議・協働を行い、グループで課題に取り組むことによって、自己他を理解する力を養い、チームワーク力を発揮できる。
- ③専門分野を超えた広義的かつ学際的な学びを通して、社会から必要とされる、新しい組み合わせのアイデア・考えを創出する力を身につけ、イノベーションにつながる製品・サービスを企画できる。

※本授業は対面で開催します。

先行履修科目の有無は、学生要覧で確認すること。

授業計画 (Course Schedule)

	テーマ(Theme)
第1回	イントロダクション(テーマ説明・授業の進め方)
第2回	工学分野講義 I
第3回	工学分野講義 II
第4回	農学分野講義 I
第5回	農学分野講義 II
第6回	芸術分野講義 I

第7回	芸術分野講義Ⅱ
第8回	工農芸融合グループワークⅠ
第9回	工農芸融合グループワークⅡ
第10回	工農芸融合グループワークⅢ
第11回	工農芸融合グループワークⅣ
第12回	工農芸融合グループワークⅤ
第13回	工農芸融合グループワークⅥ
第14回	プレゼンテーション準備
第15回	最終プレゼンテーション

教科書 (Textbooks)

書名 (Title)	著者名 (Author)	出版社 (Publisher)	ISBNコード (ISBN Code)
なし			

参考文献 (Reference Books)

書名 (Title)	著者名 (Author)	出版社 (Publisher)	ISBNコード (ISBN Code)
なし			

成績評価方法 (Grading Criteria)

成績評価の種類 (type)	割合 (Percentage)	評価基準 (Grading Criteria)
試験 (Exam)		
レポート (Report)	30	講義への理解、気づき、考察力、課題テーマへの応用などを評価する。
授業における取り組み (Class Participation)	40	授業・グループワークへの貢献度、および担当教員や協力者たちとのコミュニケーションの頻度を評価する。
課題等の取り組み (Assignment)	30	課題テーマに関連する調査と考察力、成果物の実現可能性、プレゼンテーションの説得力を強化する。
ポートフォリオの作成 (Portfolio)		
備考 (Note)		